

徳地森の子くらぶ～五感で Enjoy！徳地の森

平成29年11月11日（土）～12日（日）

【目的】

自然体験活動を通して自然に親しむ態度や豊かな情操を育むとともに、集団での宿泊体験を通して自立心や望ましい生活習慣を身に付ける素地を養う。また、本事業を実施し、参加者とその保護者の自然体験についての興味や関心が高まることで、体験活動の普及を推進する。

【参加者】 44名（小学校4年生：22名，小学校3年生22名），法人ボランティア7名

【プログラムの内容】

1日目

- 11:00 始まりの会
- 11:20 交流レクリエーション（アイスブレイク）
- 12:00 お弁当タイム
- 13:00 ポン太の森の探検隊（ネイチャービンゴ）
- 20:00 天体観察

2日目

- 9:30 アウトドアクッキング（野外炊飯：カレーライス）
- 14:30 さよならの会
- 15:00 バス乗車/終了

「始まりの会」

「交流レクリエーション（アイスブレイク）」



はじまりの会では、緊張した様子の子ども達でしたが、交流レクリエーションが始まると笑い声にあふれるにぎやかな雰囲気となりました。ゲームが進んでいくと、子どもたちは、お互いに質問をするなどして活動を楽しんでいました。

「ポン太の森の探検隊（ネイチャービンゴ）」

「天体観察」



事業当日は、風が強くとっても寒い日となりましたが、地図を持ち、グループで協力してミッションをクリアしていく様子が印象的でした。夜の天体観察では、多くの子どもが流れ星を見ることができ、驚きと喜びの声があがりました。

「アウトドアクッキング（野外炊飯）」



2日目、グループでの役割分担を話し合い、お昼ご飯のカレーライスをみんなで作りしました。美味しいカレーライスをみんなで食べた後、片づけもグループで協力して行いました。「(片づけは)大変だったけど、みんなと一緒にだったから頑張れた」との感想が特に印象的でした。



参加者全員で記念写真

【参加者の声】

「初めてやる事が多くて、大変だったけどいろいろとチャレンジできたので楽しかったです」「寒かったけど、風の音（森の音）を5分じっと聞くことは無いので楽しかった」などの感想をいただきました。

【担当者から】

本事業は、昨年度から開始され2年目となります。募集定員50名に対して150名以上の応募があったことから、ニーズの高い事業だと感じました。また、メイン活動プログラム「ポン太の森の探検隊」については、地域で活動を行う団体（森の案内人の会事務局）と連携して企画・実施することができました。普段から「森林」を舞台に活動する団体のノウハウを活かしたプログラムが展開され、事業終了後の参加者アンケートからは、本事業の目標として挙げていた「五感を使って、自然を意識的に感じる」ことができた子供たちが多くいたことがわかりました。参加者のニーズに合ったプログラムと地域との連携が実現したことが成果だったと考えております。今後も、徳地のフィールド（自然・人）を活かした事業を企画・実施できるように努めていきたいです。